

# 都の風

MIYAKO NO KAZE



新春  
号

2015年 No.40

- 発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
- 編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
- ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
- お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります



上村 衣 様 98歳  
生年月日 大正5年12月12日 北区在住

私は聴診器。医療関係者には無くてはならないモノです。いつもは主人様の首にぶら下がっていることが多いです。居心地は結構良いと思います。でも時々機嫌が悪くなるとぐんぐんに扱われます。英語では stethoscope 独語では Stethoscope と発音されます。1816年にエレンネックにより発明され、最初は片耳で聴く単耳型、そして1855年には両耳で聴く双耳型が発明され瞬く間に世界に普及しました。私の皮膚に当てる部分をチエストピースと言いますが1960年までは象牙で出来ており、長いゴム管がついて、お医者様の権威の象徴となっていましたよな気がします。はつきり言って私の先祖は威張っていました。とても大切にされていたような気がします。1970年以降はチエストピースはダイヤフラム(膜)とラッパ状のベル部に分かれ、さらにゴム管から塩ビのものに変わつて現在の姿になりました。同時に聴診器の大衆化が始まりました。私はリットマン社製(=応答ブランドモノです)でその中でも高性能なタイプです。ご主人様が使いこなせているかどうかは分かりません。ご主人様がイヤーピース(耳管の先端につき耳に入れる部分)を耳に入れる時私も緊張します。

次ページへ



医療法人 社団 都会  
理事長 渡辺 康介

## 新春のご挨拶

### ～西賀茂診療所モノ語り～（新シリーズ）

No.40

都の風通信

## 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第20回全国の集い in 岡山に参加して

今回私は多職種情報共有という力で「QOL」と多職種連携（チーム）で支えるQOLとケアの向上を目指して「」という演題で発表させて頂きました。当法人ではタイムリーな多職種連携を実践する為、インターネットを利用した「サイボウズ・リード」という情報共有ツールを導入しています。これを活用することで、リハビリの内容・成果、介助方法、ご利用者の表情

ありがとうございました。全国規模の中での発表は普段サービスで利用者様の前で話をするのとは違い、緊張しすぎて納得のいく発表が出来なかつた事がとても残念に思っています。

演題を作る難しさ、思っている事を伝える難しさを痛感しましたが自分

等を多職種へ正確に伝えることが出来、より密に情報共有が可能となりました。それが、各職種の視点を生かして、チームでご利用者の生活を支えることに繋がっていると感じています。

この発表を通して、多職種の思いや課題が明らかになり、また全国の在宅ケアに関わる方々と討論したことでも、考えを深めるとても良い機会になりました。今後もさらにご利用者のQOLとケアの向上を目指して、多職種連携をより深め、日々取り組んでいきたいと思います。

### 西賀茂デイサービスセンター

白 井 勝 政

にとつてとてもいい経験になつたと思つています。たくさんの講演は興味があるものが多くの選択するのに迷いましたが、自分が選択し聞いた講演は今後の業務に大きなヒントになるものばかりでした。

この経験を生かし、今後の業務に繋げて行きたいと改めて思います。

・住み慣れた家、住み慣れた地域で、自分らしく生きることを支えるという地域ケアの理念に基づいたものとするよう心がけ、感染予防のために生活が損なわれることのないよう努力します。  
・自立支援に向け、ご利用者・ご家族の立場を尊重した感染防止対策を実施するよう努力します。  
・全スタッフが防止対策の意義・役割・実施についての知識を持ち、適切な対応ができるよう努力します。  
・ご利用者・ご家族・スタッフにとつてより安全な環境作りに努めます。

以上の活動方針に基づきこれから皆様の健康の為、活動して参ります。今後共、宜しくお願い致します。

感染予防対策委員長 小林美紀

### 訪問看護ステーション にしがも

理学療法士 安 井 愛

新年あけましておめでとうございます。日頃から感染予防に、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。委員会は月一回定期例会議を持ち、様々な感染予防について話し合っています。

### 〈感染予防対策委員会の活動方針について〉

## 感染予防委員会について

新年あけましておめでとうございます。

日頃から感染予防に、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

委員会は月一回定期例会議を持ち、様々な感染予防について話し合っています。

### メドルサム基金

善意の淨財を、皆様のより良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。横出様、中石橋宏憲様、上柳郁子様、三浦敏子様どうもありがとうございました。

**ニシナリエ**

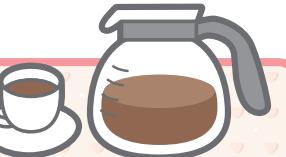
毎年12月から1月にかけて  
「医療福祉複合施設にしがも」前は  
イルミネーションが美しく輝きます  
今年は恒例のキャロリングナイトも  
こちらで行われました

このように頑張っている私ですが、たまに往診の時ご主人様は私を忘れて行かれる時あります。往診先での慌てようは想像できます。聴診器のない診察はクリープの入つてないコーヒーミたい(古い)なもので。私は初代から時代を経て10代目となります。がお正月がきても飾りをつけてもらう訳でもなく、24時間365日働く必要があります。聴診器の労基法があれば当然労基法の違反です。でも使命感は器一番もつていてるつもりです。東に冷たい身体で横たわっている人が居ればご主人様と一緒に東に走り、西に火照るほど高熱を出す人がいればご主人様と一緒に西に走り病める人のために尽くしたいと思います。

今年も様々な患者さまの呼吸音、心音、血管の拍動音、腸のグル音などの情報を患者さんから集め皆様のお役に立ちたいと思っています。何卒よろしくお願ひいたします。

今年も様々な患者さまの呼吸音、心音、血管の拍動音、腸のグル音などの情報を患者さんから集め皆様のお役に立ちたいと思っています。何卒よろしくお願ひいたします。

## ～おせっかいカフェ～



当法人では、昨年の11月より、おせっかいカフェをオープンしました。オープンのきっかけは、『最期まで住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来る』地域作りを目指しました。地域の居場所（憩いの場）にと考えています。カフェといつても本格的な喫茶ではなく、地域交流の場として、またイベント開催や健康維持・増進のための運動を実施しています。子供から大人まで参加は自由であり、障害をお持ちの方やもの忘れが心配な方なども気軽に参加頂けるカフェです。医師・看護師・ケアマネジャー・介護福祉士・社会福祉士など専門職がいますので、困った時の相談場所としてもご活用ください。



ちょっと、寄り道気分でご参加ください。



## 第2回つるさんかめさんバザー&フリーマーケット

H26年  
11月24日

よく晴れて気持ちのよい晩秋の一日、たくさんの方々にお越しいただき大盛況のうちに無事に終了しました。今回は、模擬店を増やしたほか、オープニングに和太鼓演奏などを披露しました。バザー開催に際し、多数の寄贈品の提供ならびに、足を運んで下さった方など、御協力していただいた皆様には心より御礼申し上げます。

今回の収益は、メドルサム基金やご利用者さんの活動費に使わせていただきます。有難うございました。

**フリーマーケット**

**バザー**

**事業所案内**

**模擬店**

**南京玉すだれ**

**ハープ演奏会**

**和太鼓演奏**

**キッズコーナー**